

東邦大学学術リポジトリ



OPAC

東邦大学メディアセンター

タイトル	佐地 勉先生ご略歴
別タイトル	Retired Professor Tsutomu Saji and his curriculum vitae
公開者	東邦大学医学会
発行日	2016.03
ISSN	00408670
掲載情報	東邦医学会雑誌. 63(1). p.2 4.
資料種別	学術雑誌論文
内容記述	退任記念
著者版フラグ	publisher
JaLCDOI	info:doi/10.14994/tohoigaku.2016.r002
メタデータのURL	https://mylibrary.toho u.ac.jp/webopac/TD10009431



佐地 勉先生ご略歴

1951年2月25日生

- 1976年3月 東邦大学医学部卒業, Educational Commission for Foreign Medical Graduates (ECFMG) 合格
- 6月 東邦大学医学部小児科学教室入局
- 1977年9月 東京女子医科大学付属日本心臓血圧研究所 小児循環器部門にて研修
- 1978年4月 東邦大学医学部小児科学教室助手
- 1986年6月 同 講師
- 1987年10月 Research Fellow, Children's Hospital Los Angeles Heart Center
- 1991年4月 日本循環器学会専門医
日本小児科学会専門医
- 1993年7月 東邦大学医学部第1小児科学教室 助教授
- 1994年4月 帝京大学医学部小児科 非常勤講師 (～1996年3月)
- 1997年4月 東邦大学医学部小児科学第1講座教授 現職
- 2003年4月 東京女子医科大学循環器小児科 非常勤講師
- 2008年4月 京都府立医科大学小児科 非常勤講師
- 2009年4月 愛媛大学医学部小児科 非常勤講師
- 2012年1月 ICD 制度協議会 認定ICD
- 8月 日本移植学会移植認定医
- 2015年1月 小児慢性特定疾病指定医 (東京都)

主な研究分野

肺高血圧症の内科治療・肺移植, 心筋症・心筋炎のウイルスゲノム治療, 血管炎と内皮細胞機能, 川崎病

表彰

第35回日本小児循環器学会学会会長賞(1999年), 第40回日本小児循環器学会学術集会学会会長賞(2004年), 日本心臓病学会2006年優秀論文賞, 平成18年度東京都医師会功労賞表彰都立学校心臓検診判定委員会賞, 第2回アジア太平洋小児循環器・心臓外科学会優秀演題賞(Travel Award)(2008年), 平成21年度日本川崎病学会第10回川崎賞, 第215回日本循環器学会関東甲信越地方会 Young Investigation Award(2010年), 第76回日本循環器学会 Young Investigator's Award(共著者)(2011年), 第77回日本循環器学会第8回小児循環器賞(2012年), 47th Annual Meeting of the Association for European Paediatric and Congenital Cardiology(AEPC) Young Investigator's Award(2013年), 第49回日本小児循環器学会ベストポスター賞(2013年), 第13回国際エンドセリン学会 Travel Award(2013年), 平成25年度東邦医学会賞(2013年), 平成25年度公益財団法人小児医学研究振興財団優秀論文アワード(2013年)

主な公的役職

厚生労働省: 類似薬選定のための薬剤分類に関する作業委員会(臨床班)委員, 医道審議会専門委員(医師分科会員), 心臓移植の基準等に関する作業班班員, 肺移植の基準等に関する作業班班員, 臨床研究中核病院整備事業プログラムオフィサー(国立成育医療研究センター担当), 東京都学童心臓健診判定委員, 大田区学校保健会心疾患委員会委員, 東京都医師会都立学校心臓検診判定委員会委員

主な学会役職

日本小児科学会: 東京都地方会幹事・理事委員会委員・代議員・学術-国際渉外委員会学術ワーキンググループ委員・専門試験委員(症例要約担当), 日本小児臨床薬理学会: 運営委員・学会のあり方委員会委員長・学会賞選考委員会委員・名誉会員, 日本小児循環器学会: 理事・評議員・疫学委員・小児循環器専門試験問題作成委員, 日本小児肺循環研究会代表幹事, 東京都小児在宅酸素療法HOTシンポジウム代表, 関東小児心筋疾患研究会(現: 日本小児心筋疾患研究会)代表幹事, 日本 Pediatric Interventional Cardiology学会評議員, 日本川崎病研究会(現: 日本川崎病学会)幹事, 東京(現: 関東)川崎病連絡会副会長, 小児心機能血行動態研究会世話人, 小児循環器専門試験問題作成委員, 日本循環器学会: 心臓移植症例検討委員・心肺同時移植適応検討小委員会委員・関東甲信越地方会評議員・心臓移植関連学会協議会理事・同臓器移植委員会副委員長・小児心疾患部会員・演題査読委員, 日本医学英語教育学会評議員, 東京都予防医学協会学童心臓健診判定委員(担当: 大田区小中学校, 和洋九段女子中高, 田園調布雙葉中高), 東京在宅呼吸ケア(現: 東京呼吸ケア)研究会世話人, 日本心臓病学会演題査読委員, 肺-心臓移植関連学会協議会委員, 日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院評議員・公募研究助成選考委員, 産業保健協会評議員, 臓器移植関連学会協議会世話人, 財団法人成長科学協会成育治療研究委員会委員, 心筋生検研究会幹事, 財団法人母子衛生研究会顧問, 城南小児アレルギー懇話会代表世話人, 日本小児禁煙研究会相談役, 日本心臓財団セカンドオピニオンアドバイザー, 東京肺高血圧症研究会世話人, 肺循環フロンティアTOKYO副代表幹事, 日本移植学会: 評議員・学術教育委員・学術-教育委員会委員・若手教育者セミナープログラム委員, 大西記念小児臨床薬理学会賞選考委員, Hypertension Research Editor, 東邦バイオフィォーラム世話人, 東京呼吸循環リハビリテーション研究会顧問, 日本肺高血圧学会世話人, 心臓移植治療戦略懇話会世話人, 国際エンドセリン学会運営委員, 小児心不全治療研究会代表世話人, パリビズマブ適正使用のためのアドバイザーボード: ボードメンバー, 新胎児研究会世話人, ストラクチャークラブ・ジャパン: ファカルティー

国際学会

American Heart Association Premium Professional Member, Cardiovascular Disease in the Young Leadership Committee・International Liaison Member, World Heart Federation World Congress of Cardiology(WCC)2014・Member of the Scientific Program Committee

国内学会の Fellow

Fellow of the Japanese College of Cardiology : FJCC

国際学会の Fellow

Fellow of the Society of Cardiac Angiography and Interventions (FSCAI), Fellow of the American College of Cardiology (FACC), Fellow of the American Heart Association (FAHA)

東邦大学学内委員

東邦医学会雑誌編集長 (1996.4~2005.4), 国際化を考える委員会委員長 (1996.4~2001.4), 業績評価委員会委員 (2000.4~2002.3), 東邦医学会雑誌編集委員・監事 (2011.4~2014.3), 小児科学講座教育コーディネーター (2014.4.1~2015.3.31) など

主な所属学会など

日本循環器学会, 日本心臓病学会, 日本小児循環器学会, 日本外科学会, 日本小児外科学会, 日本胸部外科学会, 日本小児呼吸器学会, 日本移植学会, 日本動脈硬化学会, 日本核医学会, 日本心臓核医学会, 日本小児科学会, 日本小児栄養消化器病学会, 日本小児内分泌学会, 日本小児麻酔学会, 日本 Pediatric Interventional Cardiology 学会, 日本臨床生理学会, 日本心臓血管作動物質学会, 日本心臓血管麻酔学会, 現: 日本病態プロテアーゼ学会, 日本リウマチ学会, 日本川崎病研究会 (現: 日本川崎病学会), 日本小児肺循環研究会, 関東小児心筋疾患研究会, 心筋生検研究会, 日本小児循環動態研究会, 日本成人先天性心疾患研究会, 胎児心臓病研究会, 東京小児 HOT 研究会, 東京在宅呼吸ケア (現: 東京呼吸ケア) 研究会, 東京川崎病連絡会, 東邦循環器研究会, American Heart Association (AHA) ・ Member of Council of Basic Science ・ Member of Council of Cardiopulmonary and Critical Care ・ Member of Council of Cardiovascular Disease in the Young, Fellow of American College of Cardiology (FACC), Fellow of The Society of Cardiac Angiography and Interventions (FSCAI)

DOI : 10.14994/tohoigaku.2016.r002